第1章

準備

■この章でおこなうこと

本製品の設定を始める前の準備をおこないます。以後の作業を中断することなく、スムーズに進めるために大切なことについて説明しています。

1.1　あらかじめ確認してください

1.2　WEP（暗号化）について～暗号化のおすすめ～

1.1 あらかじめ確認してください

本製品の導入をおこなう前に、次のことを確認しておく必要があります。

■ WLI-T1-S11G の特長

本製品は、ネットワーク機器の有線 LAN ポートを無線化するイーサネットコンバータです。ネットワークプリンタやルータ等に接続している LAN ケーブルを無線化することができます。

主な特長は、次の通りです。

・ IEEE802.11b に準拠し、無線上で通信速度 11Mbps の通信が可能。
 ※ 2Mbps 無線カードとは接続できません。
・ 11Mbps 通信時、屋内① 50m/ 屋内② 25m/ 屋外 160m（見通し）の通信が可能。
 屋内①：障害物の少ない屋内
 屋内②：障害物の多い屋内
 ※ 通信距離は環境により影響されます。
・ ローミング機能に対応しているため、移動しながらの通信が可能。
 ※ データ通信中にローミング機能が働くと、通信が途切れることがあります。
・ ネットワーク負荷を軽減する多チャンネル（全 14ch）機能を搭載。
・ 104(128)/40(64) ビット WEP 対応。(詳細は、「WEP（暗号化）について〜暗号化のおすすめ〜」(P10) を参照)
 ※ 104(128) ビット WEP を使用する場合、無線 LAN カード／アダプタも 104(128) ビット WEP に対応している必要があります。(104(128) ビット WEP と 40(64) ビット WEP の併用はできません)。

⚠注意 • 本製品をお使いになる場合は、必ず AirStation が必要です。
• 本製品をハブと接続して使用することは、サポートしていません。

■ 設定に必要な環境

OS

・WindowsXP/2000/Me/98/95/NT4.0

ブラウザ

・Internet Explorer4.0 以降　　・Netscape Navigator4.0 以降

※ブラウザは、本製品の詳細設定時のみ必要となります。

■ パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 本製品（WLI-T1-S11G）..........................1 台
- AC アダプタ ....1 個
- イーサネットコンバータ CD ....1 枚
- ユーザーズマニュアル（本書）.....................1 冊
- 吸着シート ....1 枚

※ AirStation を設置したときに安定しない場合は、このシートを AirStation の底面に貼りつけて、AirStation を固定してください。

- ストレートケーブル 3m（カテゴリ 5）...............1 本
- ユーザー登録はがき・保証書 ....1 枚

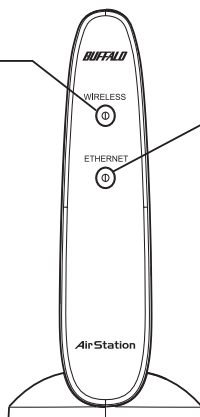
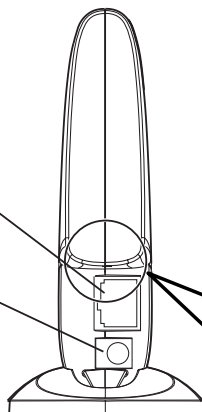
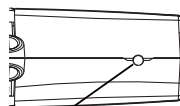
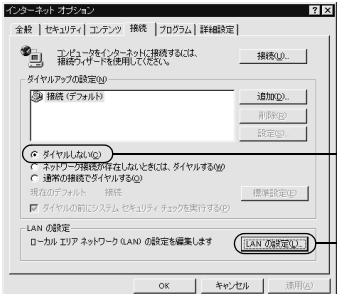
※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

⚠注意 **使用上のお願い**

本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。
パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

■　各部の名称とはたらき

WIRELESSランプ（緑）
点灯：無線リンク時
点滅：通信時
BUFFALO
WIRELESS
ETHERNET
AirStation
ETHERNETランプ
点灯：有線リンク時
点滅：通信時
前面パネル
LANポート
ネットワーク機器を接続します。
DCコネクタ
付属のACアダプタを接続します。
背面パネル
下から見た図
初期化／モード切替えイッチ
WLI-T1-S11Gを初期化するときに押します。また、一回押すたびに、無線の通信モードが切り替わります。モードの確認は、スイッチを押した直後のWirelessランプでできます。
数秒間点滅後、消灯
・アドホックモード
（無線LANパソコン同士で通信できるモード。但し、無線LANパソコン間通信とは通信できません。）
数秒間点灯後、消灯
・インフラストラクチャモード
(AirStationと通信できるモード)

■　ブラウザの設定確認（詳細設定を行なうときのみ）

ブラウザの設定で、ダイヤルアップの設定とプロキシの設定を無効にしてください。
InternetExplorer5.0 以降の場合を例に説明します。

1　［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2　「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。

3　「接続」タブをクリックします。

4

1 クリック　［ダイヤルアップの設定］欄にプロバイダの情報がある場合は、その欄の下にある［ダイヤルしない］の前の○をクリックして、●マークを付けます。

2 クリック　「ローカルエリアネットワーク(LAN)」の設定欄にある［LAN の設定］をクリックします。

5　どの項目がチェックされているかを確認します。

控えのために、下の□を同じようにチェックしてください。
□設定を自動的に検出する
□自動設定のスクリプトを使用する
□プロキシサーバーを使用する
□ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない

6　チェックされている項目をメモしたら、すべてのチェックをはずします。

1.2 WEP（暗号化）について～暗号化のおすすめ～

本製品は電波を使って通信をおこなうため、外部から無線パケットを解析されてしまう可能性があります。セキュリティを確保するためには、無線パケットに「WEP」と呼ばれる暗号キーを設定して通信をおこなうことを推奨します。

本製品には、104(128) ビット WEP と 40(64) ビット WEP の２種類の WEP が設定できます。104(128) ビット WEP（文字入力：13 文字、16 進数入力：26 桁）を設定することで、より高いセキュリティを設定することができます。ただし、40(64) ビット WEP（文字入力：5 文字、16 進数入力：10 桁）のみに対応した無線 LAN 製品と通信する場合は、本製品の WEP 設定も 40(64) ビット WEP に設定する必要があります。

※ WEP には、40 ビットと 104 ビットの 2 つの暗号キーがあります。実際の通信時には、この暗号キーに 24 ビットの初期化ベクトルと呼ばれるデータを付加するため、64 ビット WEP や 128 ビット WEP と呼ばれる場合があります。